

I 第11週の発生動向 (2016/3/14~2016/3/20)

- インフルエンザについては、五所川原保健所管内で**注意報**が発令されました。
なお、八戸保健所、東地方+青森市保健所、むつ保健所管内では**警報**が、上十三保健所、弘前保健所管内では**注意報**が続いています。
- 流行性耳下腺炎については、東地方+青森市保健所管内で**注意報**が解除されました。

II 第11週五類感染症定点把握

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

疾患名	東青 (東地方保健所・ 青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (八戸保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの増減
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	
小児科 小児科	238	18.31	241	16.07	166	11.07	73	10.43	201	22.33	222	37.00	1141	17.55	93
RSウイルス感染症			1	0.11	2	0.20	1	0.20					4	0.10	1
咽頭結膜熱	4	0.50			6	0.60	2	0.40	3	0.50	1	0.25	16	0.38	5
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	18	2.25	19	2.11	48	4.80	4	0.80	3	0.50	3	0.75	95	2.26	6
感染性胃腸炎	57	7.13	35	3.89	50	5.00	17	3.40	34	5.67	11	2.75	204	4.86	74
水痘					3	0.30			1	0.17			4	0.10	2
手足口病															-1
伝染性紅斑	9	1.13							2	0.33	5	1.25	16	0.38	0
突発性発しん	3	0.38	3	0.33	4	0.40	1	0.20	1	0.17	1	0.25	13	0.31	2
百日咳															0
ヘルパンギーナ															0
流行性耳下腺炎	20	2.50							1	0.17			21	0.50	-15
眼科															0
急性出血性結膜炎															0
流行性角結膜炎	1	0.50			1	0.50			1	0.50			3	0.27	-4
クラミジア肺炎															0
細菌性髄膜炎															0
マイコプラズマ肺炎					3	3.00					4	4.00	7	1.17	2
無菌性髄膜炎															0
感染性胃腸炎(ロタウイルス)					6	6.00							6	1.00	5

は警報、は注意報。「空欄」:患者発生無し。

III 全数把握疾患(掲載数は最新情報)

- 結核(二類全数把握疾患):弘前1人、八戸3人(2016年計:52人)

IV 病原体検出情報 ※()内は、検査材料及び検体採取日です。

- 上気道炎患者(鼻汁、2/23)・・・ヒトライノウイルスC:八戸1人
- 下気道炎患者(鼻汁、1/31~2/25)・・・ヒトメタニューモウイルス:八戸2人
- 無菌性髄膜炎患者(咽頭ぬぐい液、2/16)・・・HHV6B、HHV7:弘前1人
- 熱性けいれん患者(鼻咽腔、2/9)・・・ヒトライノウイルスC:八戸1人
- その他の患者(鼻汁、2/1)・・・ヒトライノウイルスC:八戸1人

感染症の窓

性器ヘルペスウイルス感染症(五類定点把握疾患)

性器ヘルペスウイルス感染症は、単純ヘルペスウイルス(herpes simplex virus:HSV)の感染によって性器やその周辺に水疱や潰瘍等の病変が形成される疾患で、外部から入ったウイルスによる初感染の場合と、仙髄神経節に潜伏しているウイルスの再活性化の場合の2つがあります。

初感染では、感染後3日~7日の潜伏期の後に外陰部に小水疱又は浅い潰瘍性病変が数個ないし多数出現します。発熱などの全身症状を伴うことが多く、2~4週間で自然に治癒した後も月経、性交その他の刺激が誘因となって再発を繰り返します(再活性化)。病変部位は男性では包皮、冠状溝、亀頭、女性では外陰部や子宮頸部です。なお、再活性化は初感染に比べて症状は軽度です。

青森県における昨年からの報告数推移をみると、4人~14人の幅で毎月報告されており(図1)、年齢及び男女別では、20歳から34歳までの女性の報告数が特に多くなっています(図2)。

予防策は、HSVを排出している相手との直接の性的接触を避ける以外に方法がありませんが、無症状でウイルスを排出している場合も多く、なかなか困難であるため、パートナーがHSVを保有していないことが確実な場合以外、予防のためにコンドームを使用する必要があります。【参考】厚生労働省HP、国立感染症研究所HP

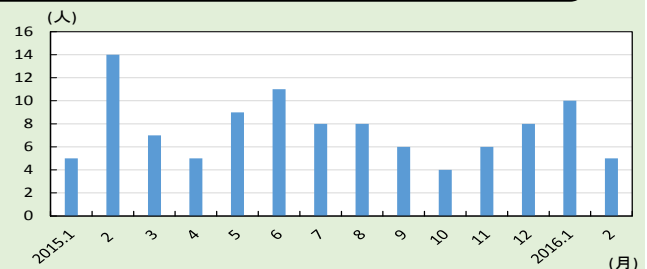


図1: 県内における報告数推移(2015年1月~2016年2月)

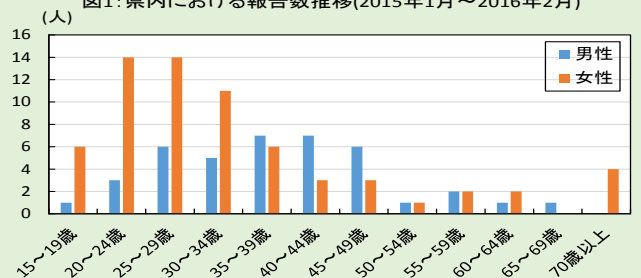


図2: 年齢及び男女別報告数(2015年1月~2016年2月)

V 県内インフルエンザ情報（2015年第48週～2016年第11週）

第11週の患者報告数は1141人で、このうち迅速診断キットによる型別が報告されているのは1111人【A型：426人、B型：685人】でした。

警報レベル開始基準値：30人/定点、警報終息基準値：10人/定点、注意報基準値：10人/定点
 （※ 警報注意報基準値は保健所ごとの定点あたり報告数が基準となっています。）

保健所管内別届出人数（人）

週	48	49	50	51	52	53	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
保健所名																	
東地方			2					4	2	7	5	6	7	5	2	2	5
弘前	1			1	8	9	32	62	194	195	212	222	130	123	137	158	241
八戸					2	3	37	217	396	490	399	310	190	205	167	201	166
五所川原						6	14	38	84	84	125	163	119	104	52	50	73
上十三			1			1	16	35	89	178	232	264	251	236	215	160	201
むつ				2	11	2	6	24	40	86	159	197	241	184	175	219	222
青森市			1	5	23	14	37	83	264	328	455	481	282	241	250	258	233
合計	1	0	4	8	44	35	142	463	1069	1368	1587	1643	1220	1098	998	1048	1141

A型（迅速診断キットによる型別です）(人)

週	48	49	50	51	52	53	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
保健所名																	
東地方			1					4	2	7	5	6	6	1	1	1	3
弘前	1			1	8	9	32	61	193	194	208	218	124	103	90	64	33
八戸					2	3	34	215	377	467	354	282	168	181	128	119	84
五所川原						6	14	37	84	82	125	160	117	92	39	10	7
上十三			1			1	14	34	80	159	202	208	211	149	143	85	122
むつ				2	11	2	6	22	36	60	98	144	163	122	104	110	138
青森市			1	5	23	12	37	82	252	307	422	453	236	165	98	56	39
合計	1	0	3	8	44	33	137	455	1024	1276	1414	1471	1025	813	603	445	426

B型（迅速診断キットによる型別です）(人)

週	48	49	50	51	52	53	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
保健所名																	
東地方			1										1	3		1	2
弘前								1	1	1	4	4	6	20	47	94	208
八戸							3		6	10	10	10	8	15	32	80	73
五所川原										2		3	2	12	13	40	66
上十三							2	1	8	16	22	46	26	74	53	66	64
むつ								2	4	26	61	53	78	62	71	109	84
青森市						2		1	6	9	11	16	38	67	138	191	188
合計	0	0	1	0	0	2	5	5	25	64	108	132	159	253	354	581	685

年齢区分別(人)

週	48	49	50	51	52	53	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
～5ヶ月									3	3	5	7	7	3	2	6	1
～11ヶ月							4	7	13	12	26	35	18	16	16	11	16
1歳					1	2	5	23	47	77	82	75	64	46	53	46	43
2歳					1	4	3	16	47	65	89	78	58	45	48	44	44
3歳					1	1	1	17	50	73	90	80	53	58	34	42	45
4歳						1	8	25	63	116	94	94	76	74	71	64	61
5歳					1	2	5	23	76	122	89	111	95	82	74	63	76
6歳					1	1	3	29	70	96	107	101	64	67	67	54	74
7歳			1	2	6	1		13	72	72	103	101	71	55	62	57	59
8歳					4	1	3	14	66	55	87	54	57	62	43	47	65
9歳				1	3		2	7	58	64	79	59	54	50	38	35	63
10～14歳			2		4	1	4	29	99	145	220	201	154	139	137	211	233
15～19歳			1	4	11	3	9	18	42	51	64	68	28	32	33	54	46
20～29歳					1	2	10	35	39	48	57	78	52	41	46	49	52
30～39歳					3	6	20	47	68	95	105	157	100	82	70	68	66
40～49歳				1	4	3	18	60	92	103	104	116	84	74	66	66	58
50～59歳					2	2	22	45	65	71	87	91	76	72	55	47	56
60～69歳					1	3	18	32	58	61	57	80	69	37	52	51	43
70～79歳	1					1	5	14	27	26	27	33	27	42	20	18	26
80歳以上						1	2	9	14	13	15	24	13	21	11	15	14

VI 保健所管内別全数把握疾患発生状況（2016年第1週～2016年第11週）

週	期間	東青 (東地方保健所・ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (八戸保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
1	H28.1.4 ~ H28.1.10	E型肝炎1人 カルバペネム耐性腸内 細菌科細菌感染症1人	E型肝炎1人 カルバペネム耐性腸内 細菌科細菌感染症1人			水痘(入院例)1人	
2	H28.1.11 ~ H28.1.17			レジオネラ症1人			
3	H28.1.18 ~ H28.1.24	劇症型溶血性レンサ 球菌感染症1人	カルバペネム耐性腸内 細菌科細菌感染症1人				
4	H28.1.25 ~ H28.1.31	アメーバ赤痢1人	クロイツフェルト・ヤコ ブ病1人				
5	H28.2.1 ~ H28.2.7						
6	H28.2.8 ~ H28.2.14	デング熱1人	E型肝炎1人	カルバペネム耐性腸内 細菌科細菌感染症1人 梅毒1人			
7	H28.2.15 ~ H28.2.21				E型肝炎1人	カルバペネム耐性腸内 細菌科細菌感染症1人	
8	H28.2.22 ~ H28.2.28	カルバペネム耐性腸内 細菌科細菌感染症1人 侵襲性肺炎球菌感染 症1人		カルバペネム耐性腸内 細菌科細菌感染症1人			
9	H28.2.29 ~ H28.3.6			梅毒1人			
10	H28.3.7 ~ H28.3.13		侵襲性肺炎球菌感染 症1人			クリプトスポリジウム症 1人	
11	H28.3.14 ~ H28.3.20						

VII 結核(二類全数把握疾患) (2016年第1週～2016年第11週) (人)

週	期間	東青 (東地方保健所・ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (八戸保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
1	H28.1.4 ~ H28.1.10	2				1	
2	H28.1.11 ~ H28.1.17	3	1		1	2	
3	H28.1.18 ~ H28.1.24	1	3	2	2	1	
4	H28.1.25 ~ H28.1.31	1	1				
5	H28.2.1 ~ H28.2.7	2	5	1			
6	H28.2.8 ~ H28.2.14	1				1	1
7	H28.2.15 ~ H28.2.21	2		1	1		
8	H28.2.22 ~ H28.2.28	1	1	2		1	
9	H28.2.29 ~ H28.3.6		1	1	1	1	
10	H28.3.7 ~ H28.3.13		1	2			
11	H28.3.14 ~ H28.3.20		1	3			

VIII 全数把握疾患発生状況(全国-青森県)

(注: 発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています)

全国 (2016年第1週～第10週累計)

分類	二類	三類	三類	三類	二類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	細菌性赤痢	腸管出血性大 腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノコクシ ス症	回帰熱	ジカウイルス 感染症	重症熱性血小 板減少症候群	チクングニア 熱	つが虫病	デング熱	日本紅斑熱	マリア	レジオネラ症	レプトスピラ症	7merバネム	ウイルス性肝 炎	カルバペネム 耐性腸内細菌 感染症	急性脳炎	クリプトスポ リジウム症
累積報告数	4095	31	126	8	2	80	64	3	1	2	2	1	36	53	3	3	214	3	226	46	266	244	1

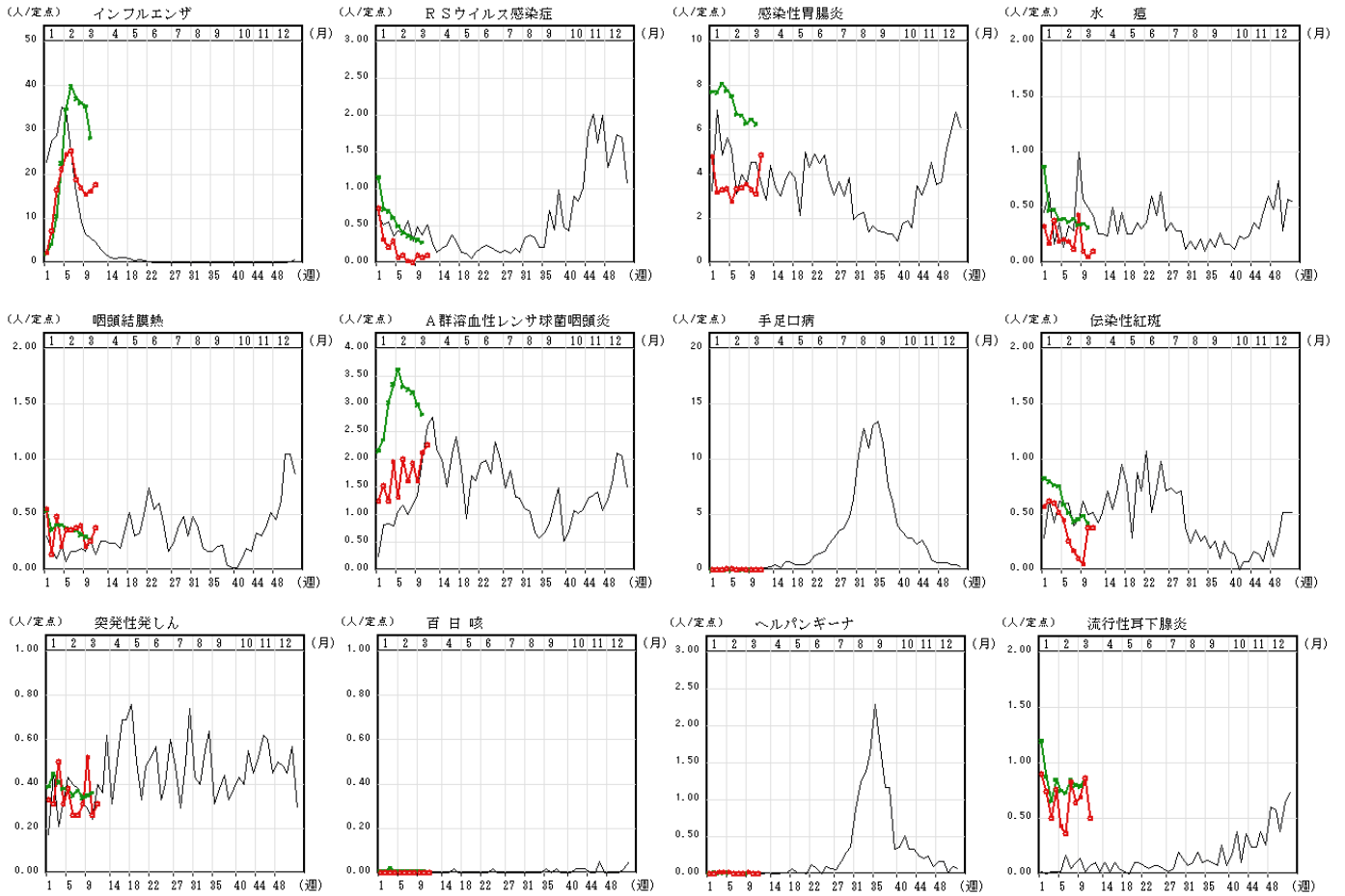
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	クロイツフェ ルト・ヤコブ病	劇症型溶血性 レンサ球菌感 染症	後天性免疫不 全症候群	ジアルジア症	侵襲性パ ルエンガ菌感 染症	侵襲性肺炎 球菌感染症	侵襲性肺炎球 菌感染症	水痘(入院例)	梅毒	播種性クリ プトコックス症	破傷風	パノコマン 耐性腸内細菌 感染症	風しん	麻しん	薬剤耐性アシ ネトバクター感 染症
累積報告数	42	109	270	10	61	12	629	45	666	24	13	5	18	3	6

青森県 (2016年第1週～第11週累計)

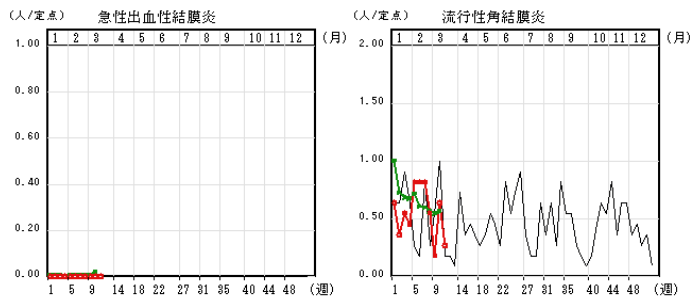
分類	二類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	E型肝炎	デング熱	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム 耐性腸内細菌 科細菌感染症	クリプトスポ リジウム症	クロイツフェ ルト・ヤコブ病	劇症型溶血性 レンサ球菌感 染症	侵襲性肺炎球 菌感染症	水痘(入院例)	梅毒
累積報告数	52	4	1	1	1	7	1	1	1	2	1	2

IX インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移 (2016年第11週、但し全国は前週)

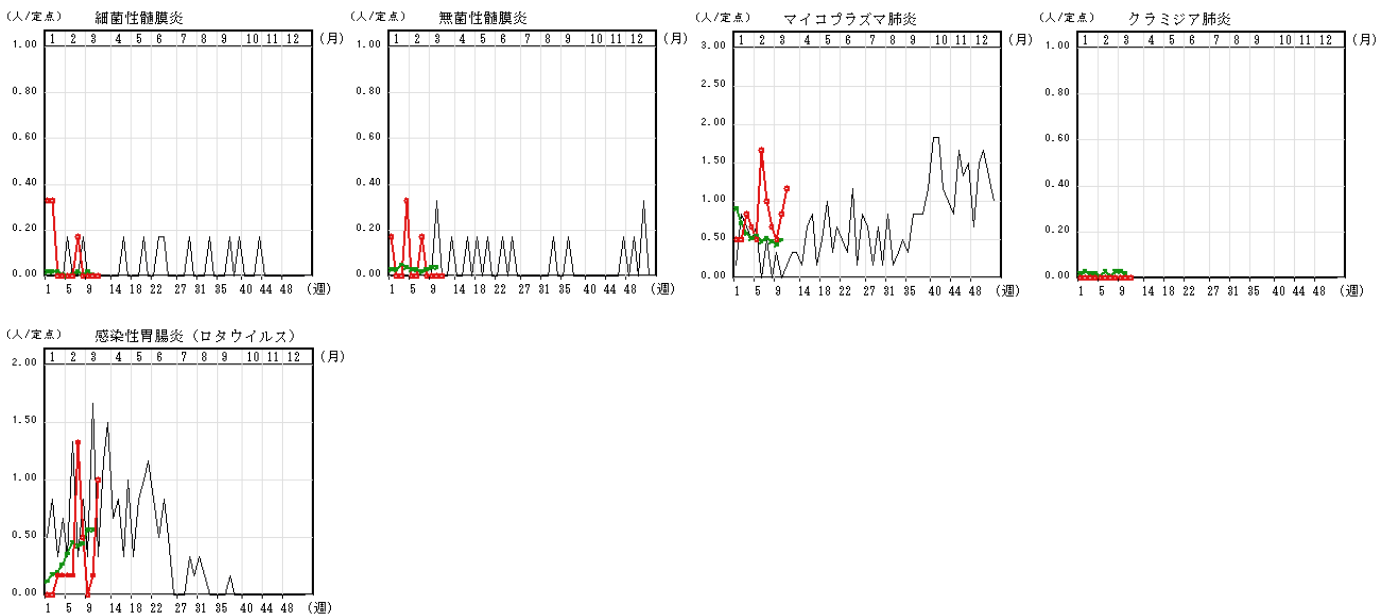
グラフの説明 ○—○は2016年青森県、——は2015年青森県、 ×—×は2016年全国



X 眼科定点把握疾患週別推移 (2016年第11週、但し全国は前週)



XI 基幹定点把握疾患週別推移 (2016年第11週、但し全国は前週)



XII 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成17年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

平成28年第11週

報告週 (第1報)	施設種別	発症者数	管轄保健所
第11週	障害関係施設	11	青森市保健所

平成28年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月		2月			3月			計 (施設別)
		1-4週	5-8週	9週	10週	11週	9週	10週	11週	
介護・老人福祉関係施設	件数	0	3	0	0	0	0	0	0	3
	発症者数	0	84	0	0	0	0	0	0	84
児童・婦人関係施設等	件数	0	2	0	0	0	0	0	0	2
	発症者数	0	26	0	0	0	0	0	0	26
障害関係施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	11	11
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計(月別)	件数	0	5	0	0	0	0	0	1	6
	発症者数	0	110	0	0	0	0	0	11	121